

[平成20年度普及に移す技術]

[技術名] 一斉収穫に向く葉長のそろいが良いハウレンソウ品種

[要約] 施設ハウレンソウの5月まきでは「プリウス」「トリトン」、9月まきでは「スーパーヒルズ」が葉長のそろいが良く、収量も多く一斉収穫に適する。

[キーワード] ハウレンソウ、品種、斉一性

[担当] 福井農試・園芸・バイテク部・野菜研究グループ

[連絡先] 電話 0776-54-5100、電子メール n-satou-bx@pref.fukui.lg.jp

[背景・ねらい]

ハウレンソウは本県施設野菜の主力として定着している重要な品目であり、一層のブランド化と生産拡大のための省力生産技術の開発が求められている。生産現場では規模拡大のため一斉収穫技術の導入を進めているが、適する品種が明確になっていない。そこで、生育の斉一性と一斉収穫した場合の収量性を中心に、5月まきと9月まきにおける適品種を選定する。

[技術の内容・特徴]

1. 5月まき作型には「プリウス」「トリトン」が適する。

「プリウス」はやや生育が遅いが、葉長のそろいが良い。1株重が大きく、収量も多い。

「トリトン」は1株重が大きく、株張りもよい。葉長のそろいが良く、可販率が高く、収量も多い。

2. 9月まき作型では「スーパーヒルズ」が適する。

「スーパーヒルズ」は葉長のそろいが良く、1株重が大きく、株張りもよい。また、可販率も高く、収量が多い。

[技術の活用面・留意点]

1. ハウレンソウ一斉収穫時の品種選択に活用する。

2. ベと病の発生が見られる場合は、レースに対する抵抗性の有無を確認して品種選択する。

3. 株間7cm、条間12cmの間隔に、真空は種機を用いて1粒は種した。肥料は、ジャンボ特S866を用い、施用量は5月まきN15kg/10a、9月まきN10kg/10aで栽培した。

[普及計画]

普及目標：当該品種の栽培面積 3ha

普及対象：施設ハウレンソウ生産者

普及に向けた対応：研修会等での情報提供、実証圃での指導支援、フィールドレポート・HPへの掲載

[具体的データ]

表 供試したハウレンソウ品種の生育特性

は種期 ¹⁾	実施年	品種	株立数 ²⁾ (本/m)	収穫 日数 (日)	最大葉長		最大 葉幅 (cm)	葉色 (SPAD)	1株重		可販率 ³⁾ (%)	収量 ⁴⁾ (g/m ²)	べと病 抵抗性
					(cm)	(CV・%)			(g)	(CV・%)			
5月	H18	プリウス	11.8	31	27.0	8.6	9.0	32.9	30.3	32.6	83.2	1749.1	R1-5
		マジエスタ	12.0	28	28.2	12.5	7.1	35.9	23.3	34.9	84.0	1381.0	R1-5
		アクティオン	9.7	28	26.7	12.3	8.6	32.7	20.9	26.4	78.2	932.2	R1-4
	H19	プリウス	10.4	32	25.4	9.6	9.2	32.7	31.7	40.6	66.6	1286.8	
		マジエスタ	9.8	30	29.8	9.8	8.5	36.8	28.0	38.4	92.1	1478.4	同上
		アクティオン	8.9	30	27.5	10.2	9.7	36.2	23.3	37.8	88.0	1069.7	
		トリトン	9.9	30	27.3	10.0	11.7	37.9	38.5	36.4	82.7	1845.4	R1-7
サンホープ	11.5	32	26.5	10.0	9.4	41.0	29.8	30.5	76.5	1541.0	R1-5		
ハンター	13.1	31	27.5	13.4	8.4	40.7	29.0	36.6	81.9	1823.0	R1-7		
9月	H18	アンナ	10.5	36	28.5	12.7	7.0	31.3	15.5	30.2	85.8	821.1	R1,3
		トラッド	12.5	36	27.9	14.5	7.2	29.9	16.8	41.4	83.3	1028.6	R1-5
		スーパーアリーナ	11.5	43	28.6	13.0	8.3	40.1	22.2	47.8	86.0	1291.0	R1-5
		ウィンダム	9.5	36	28.0	13.7	7.5	30.8	15.7	33.3	90.9	797.2	R1-5
		タキシード7	10.0	36	31.5	12.5	7.4	36.3	15.1	33.7	92.4	820.4	R1-7
	H19	アンナ	12.7	39	30.3	12.2	8.9	34.1	17.3	33.9	93.1	1197.4	同上
		トラッド	11.2	39	30.4	14.1	9.9	33.4	23.4	35.8	91.1	1398.6	
		スーパーアリーナ7	12.2	42	27.1	11.7	8.7	42.3	20.2	35.8	71.0	1024.6	R1-7
		プライド	12.8	39	31.1	12.9	8.2	42.1	17.8	40.3	93.4	1251.0	R1-7
		ヴィジョン	12.0	39	28.7	11.8	7.6	39.5	17.8	31.3	87.5	1096.7	R1-7
		スーパーヒルズ	11.7	39	29.9	10.7	9.2	38.1	22.5	29.9	97.2	1503.2	R1-7

¹⁾ は種日 H18 5月26日、9月7日 H19 5月21日、9月14日

²⁾ 収穫本数(規格外含む)

³⁾ 収穫全株数に占める最大葉長25cm以上の株数の割合

⁴⁾ 株立ち数×1株重×(可販率/100)×5.88(1mあたり条数)



プリウス



トリトン



スーパーヒルズ

[その他]

研究課題名：雇用型経営促進のためのハウレンソウ一斉収穫技術の確立（農林水産業者等提案型共同研究）、野菜の栄養成分向上技術の確立

研究期間：2006年度、2006～2008年度

研究担当者：佐藤信仁、五十里千尋、村田英一郎